

一般会計歳入歳出決算額の詳細

	令和2年度決算額	令和元年度決算額	増減率 (%)	解説
(1) 歳入総額	1,921億5,319万円	1,421億3,091万円	35.2	前年度に比べ個人市民税や固定資産税は増額となったものの、法人市民税が大きく減額となるなど、市税全体では約5.7億円の減額となりました。 一方で、国庫支出金が約387億円の増額、諸収入が約111億円の増額などにより、歳入総額は約500億円の増額となりました。
(2) 歳出総額	1,879億8,524万円	1,391億2,457万円	35.1	特別定額給付金事業や特別融資預託金などにより商工費が約471億円の増額となりました。また、認定こども園施設給付事業や子育て世帯臨時特別給付金事業などにより、民生費が約22億円の増額となり、歳出総額は約488億円の増額となりました。
(3) 歳入歳出差引額	41億6,795万円	30億634万円	38.6	「(1)歳入」から「(2)歳出」を差し引いた、形式収支と呼ばれるものです。
(4) 実質収支	34億987万円	20億9,380万円	62.9	実質収支は、「(3)歳入歳出差引額」から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもので、このうち20億円を財政調整基金（貯金）に積み立て、残りの14億987万円を翌年度（令和3年度）への繰越金としました。
(5) 単年度収支	13億1,607万円	△4億3,512万円	△402.5	単年度収支は、当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた、当該年度だけの収支の状況を見るものです。
(6) 実質単年度収支	△12億6,656万円	△19億3,776万円	34.6	実質単年度収支は、「(5)単年度収支」に財政調整基金への積立金（決算余剰積立以外）と市債元金の繰上償還金を加算し、財政調整基金の取崩額を減じたもので、単年度収支に含まれている黒字要素及び赤字要素を調整した収支の額です。